

取扱説明書

ハイセルベーター PF72



開梱からご使用方法まで(動画)

スマートフォンなどで右のコードを読み取っていただくと、ご使用方法などを動画でご確認いただけます。



お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

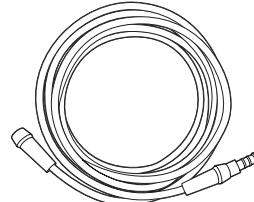
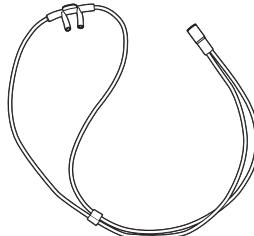
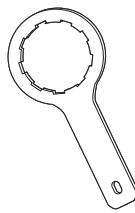
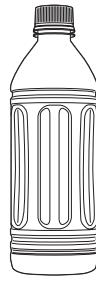
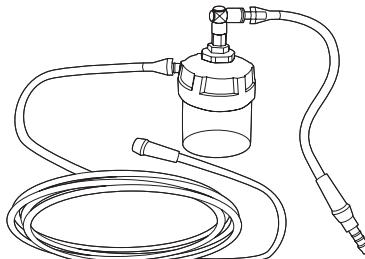
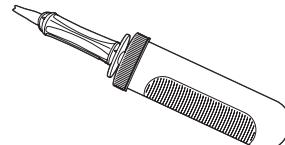
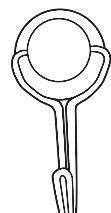
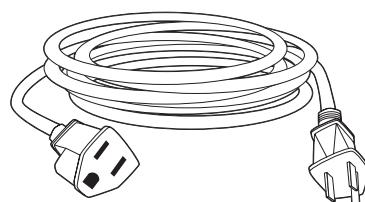
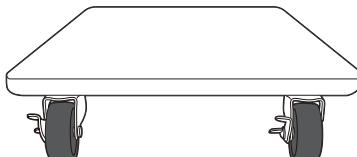
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3 ~ 6 ページ) を必ずお読みください。

目次

付属品	2
安全上のご注意	3
各部名称	7
設置する	9
ご使用方法	10
使用後のお手入れ	15
専用水の注水	17
Q&A 故障かな?と思ったら	19
製品仕様/その他	21
保証について	23

付属品

付属品をご確認ください。

 湿潤カップ	 延長チューブ	 カニューラ
 キャップレンチ	 専用水	 軟水ミネラルウォーター
 集水ケース	 水滴排出ポンプ	 マグネットフック
 延長用電源コード	 台車	

- 専用水やその他別売品のご注文については、「別売品について」(P.22)をご覧ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。ここに記載している注意事項は、人への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。内容を十分にご理解のうえ、必ずお守りください。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



必ず実行しなければならない内容です。



警告



可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない
火災や爆発の原因になります。



異常・故障時には直ちに使用を中止する

そのまま使うと火災・感電などの原因になります。異常があったときには、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、「メンテナンスセンター」(P.23)にご連絡ください。



電源コード、延長用電源コードを破損するようなことはしない
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。



電源コード・プラグは、正しく扱う

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 根元まで確実に差し込む
- 差し込みが緩い電源コンセントに差し込まない
- たこ足配線にしない
- ぬれた手で抜き差ししない
- 必ず本体の電源が切れたことを確認してから抜く
- 抜くときは必ずプラグを持って抜き、コードを引っ張らない
- ほこりなどがたまらないように、定期的に乾いた布で拭く

安全上のご注意

必ずお守りください (つづき)

⚠ 警告



電源コードを延長する場合は、付属の延長用電源コード以外使用しない
火災や感電、故障の原因となります。



電源は、延長用電源コードを含め、定格 15 A以上・交流 100 Vのコンセントを
必ず単独で使う
たとえ配線などで定格を超えると、異常発熱による火災の原因になります。



分解、改造、修理をしない

感電や事故の原因になります。いかなる場合も絶対にしないでください。



本体に水をかけたり、ぬらしたりしない

防水構造ではありません。ショートなどによる感電や火災の原因となります。



アースを取り付ける → 6ページを必ずお読みください。
故障や漏電のときに、感電のおそれがあります。

アースは

- アース端子に接続する。本体の移動や転居などの際も忘れずに取り付ける。
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアースなどと、絶対に接続しない。(法令で禁止されています)



本機は水素ガスを吸入する以外の目的で使用しない

⚠ 注意



本体を落としたり、衝撃を与えたたり、傾けたりしない
火災・感電・故障の原因となります。

- 踏んだり、落としたりなど、強い力や衝撃を与えない
- よりかかったり、乗ったりしない
- 安定した場所に置き、45 度以上傾いた状態にしない



本体の放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災や故障の原因になります。

- 壁など周囲から 10 cm以上の間隔を空けて設置する
- 本体の左右側面にある吸気口/排熱口を塞がない
- テーブルクロス、カーテンなどで覆って放熱を妨げない

注意



次のような場所で保管、使用しない

正常に作動せず、事故につながることがあります。

- ・異常に温度や湿度が高い／低い場所
- ・ほこりの多いところ
- ・直射日光が当たる場所
- ・台所やストーブの周囲など、火気を使用する場所



子どもだけで使用しない

お子様がお使いになる場合は、保護者の方がこの取扱説明書を必ずお読みいただき、保護者の方の目が届く範囲でのみご使用ください。



湿潤カップの水は、蒸留水または軟水を使用する

硬水、鉱水、シリカ水、温泉水などを使用すると、ミネラル分の付着により、泡が出にくくなったり、水が白濁したりすることがあります。

- 市販の軟水ミネラルウォーターまたは浄水器を通した水道水をご使用ください。



使用中は換気を行う

まれにガス警報機が反応することがあります。窓を開けるなど、換気をしながらご利用ください。



延長チューブやカニューラを首にかけて使用しない

事故やケガの原因になります。



カニューラが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する

そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。



運転中に本体を強制終了しない

故障の原因になります。運転中や冷却中に [ON/OFF] ボタンを押して強制終了しないでください。(P.13)



専用水注水口への注水は専用水以外の水を使用しない

→ 詳しくは「専用水の注水」(P.17 ~ 18)をご覧ください。



次のような場合は、「メンテナンスセンター」(P.23)に連絡し点検を行う

- ・メンテナスランプが点灯したとき（使用時間が950時間に達すると点灯）
- ・長期間（3か月以上）使用していないとき

安全上のご注意

必ずお守りください (つづき)

⚠ 注意



延長チューブ、湿潤カップ、カニューラは常に清潔にする

汚れや水あかでカビや雑菌が繁殖すると、悪臭や健康を害する原因になります。

- ・湿潤カップには、毎日新しい水を使用する
- ・使用後は、延長チューブ、湿潤カップ、カニューラを乾燥させる(P.15 ~ 16)
- ・長時間使用しないときは、すべての付属品を取り外し、十分に乾燥させてから保管する



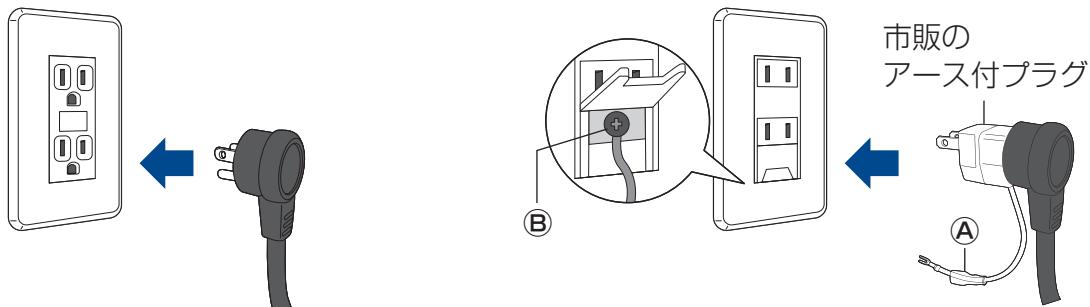
数日使用しないときは、電源プラグを抜く

絶縁劣化で火災の原因になります。

アースについて

落雷、漏電、静電気などによる故障や感電から守るため、アースは接続してご使用ください。

■ アースの取り付け方



● 3ピンタイプ

電源プラグをそのまま挿す

● ふた付きタイプ

- ① 電源プラグに市販のアース付プラグを取り付ける
- ② アース先端のカバー(A)を下げる
- ③ ふたを開け、ドライバーでネジ(B)を緩める
- ④ 緩めた部分にアース線の端子を挿し込む
- ⑤ ドライバーでネジを締め、ふたを閉める
- ⑥ 電源プラグを挿す

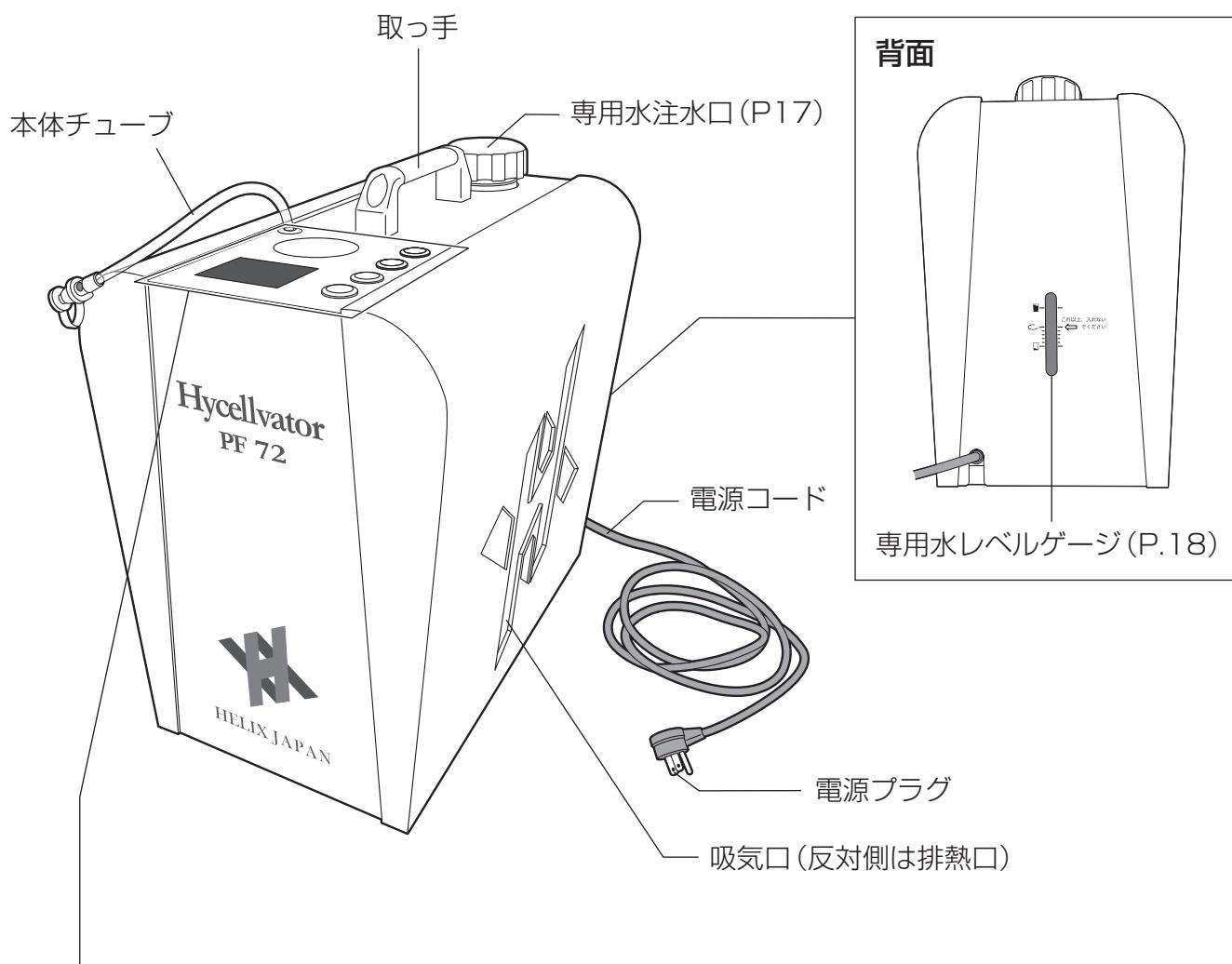
■ アースの工事が必要なとき

本体価格に工事費は含まれておりません。

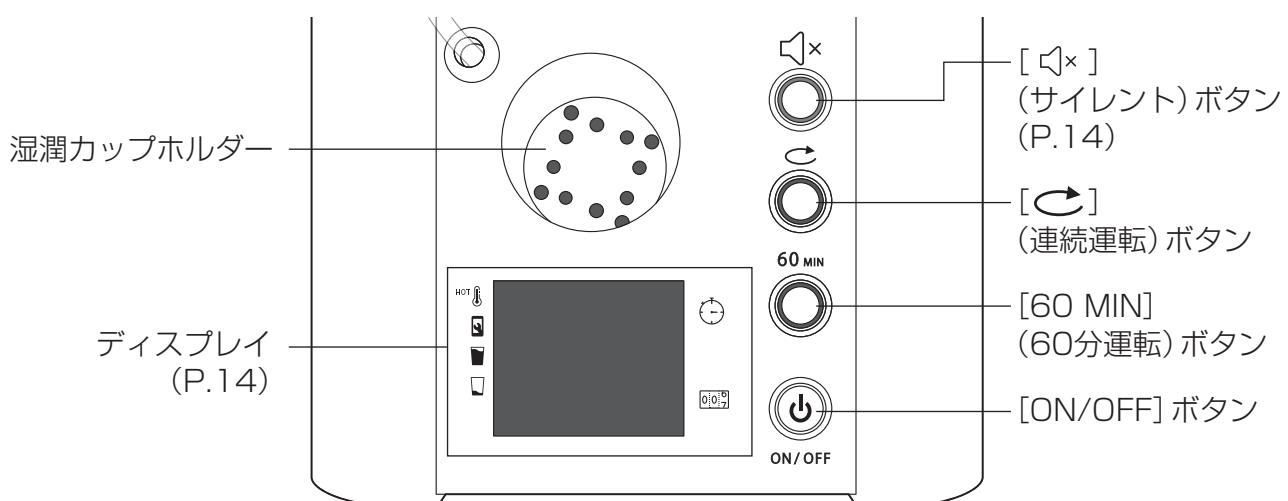
ご使用になる場所の近くにアースを接続できるコンセントがない場合は、アース線の増設工事が必要です。ご希望の方は「メンテナンスセンター」(P.23)にご相談ください。

各部名称

本体

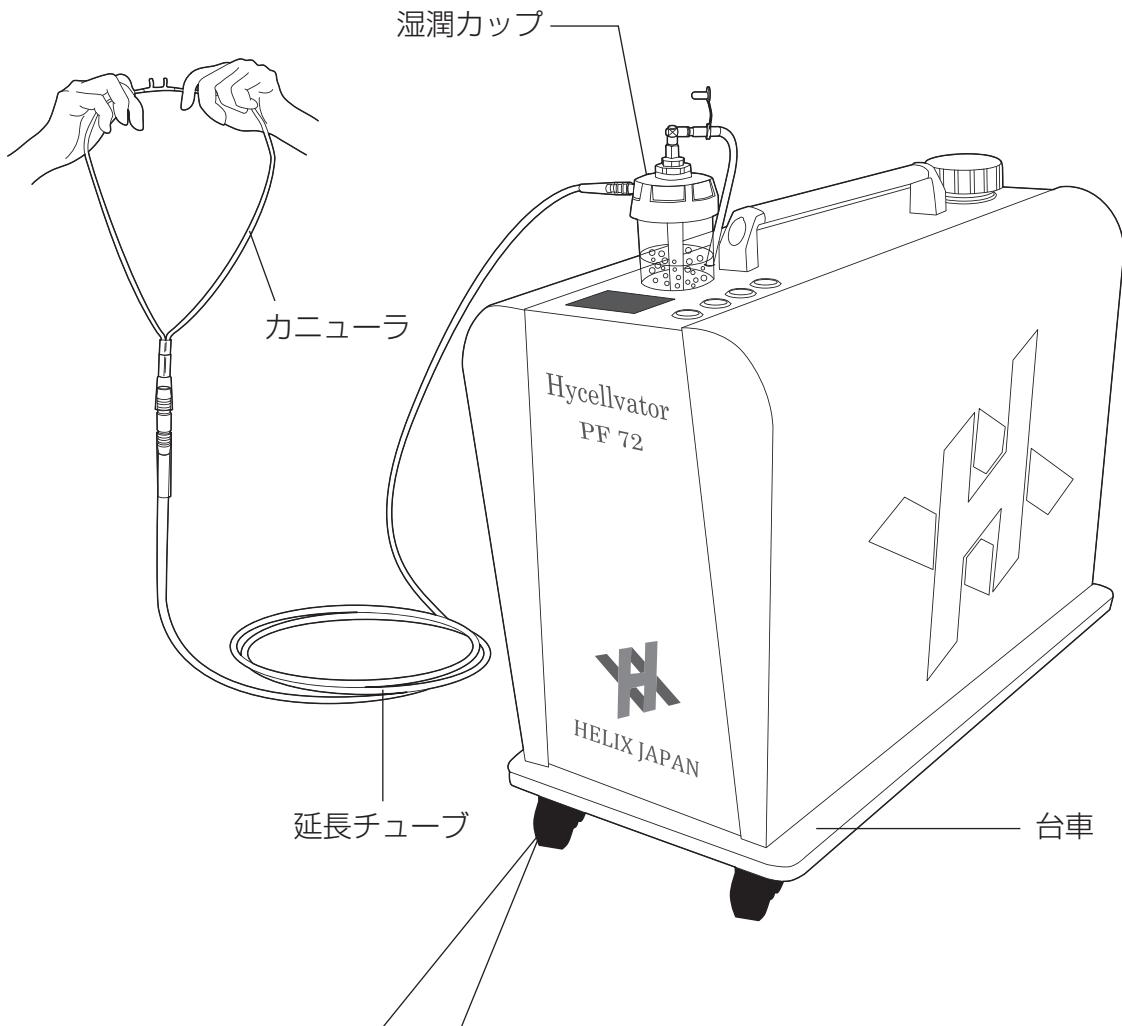


天面 操作部



各部名称 (つづき)

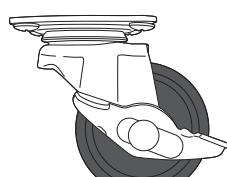
付属品 装着時



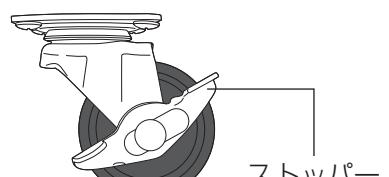
台車を固定したいときは

- ロック : ストッパー (4か所) を右に倒す
- 解除 : ストッパー (4か所) を左に倒す

滑りやすい床面では、固定していても動く場合
があります。



ロック



解除

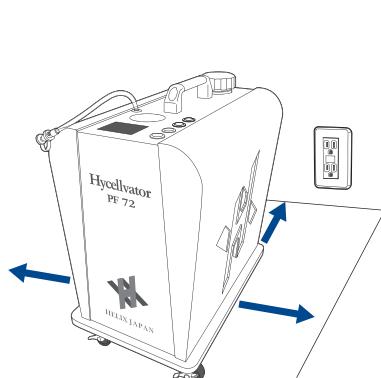
設置する

1 台車を平らな床に置き、本体を載せる

- 本体天面の取っ手を持ち、台車からはみ出さないよう、まっすぐに載せてください。

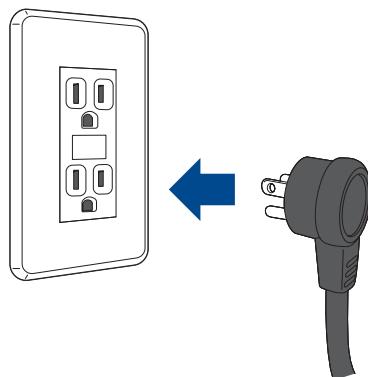


2 ご使用になる場所の近くに、壁など周囲から、背面・左右面を 10 cm以上空けて設置する



3 電源コードをコンセントに挿す

- 電源コードが壁に設置された電源コンセントに届かない場合は、付属の延長用電源コードをご使用ください。



お願い

- 落雷、漏電、静電気などによる故障から本機を守るため、アースは接続してご使用ください。(P.6)
- 付属の延長用電源コード以外は使わないでください。故障の原因になります。
- たこ足配線はしないでください。故障の原因になります。

ご使用方法

次の順で準備、運転を行い、本機が正常に動作していることを確認してからご使用ください。

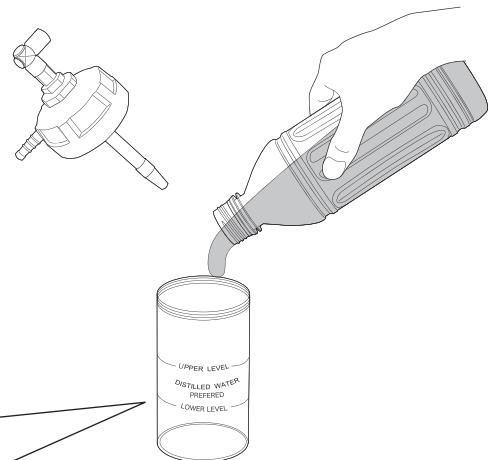
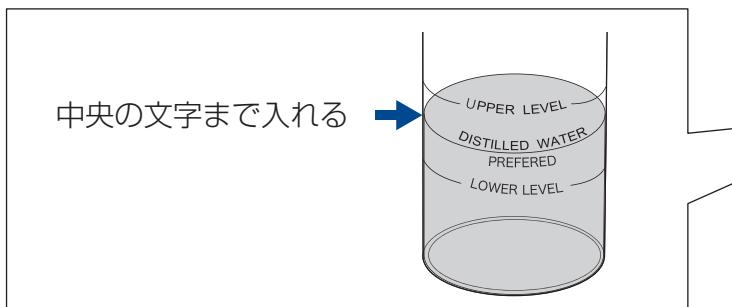
準備する

1 濡潤カップのふたを左に回し開け、軟水ミネラルウォーターを入れる

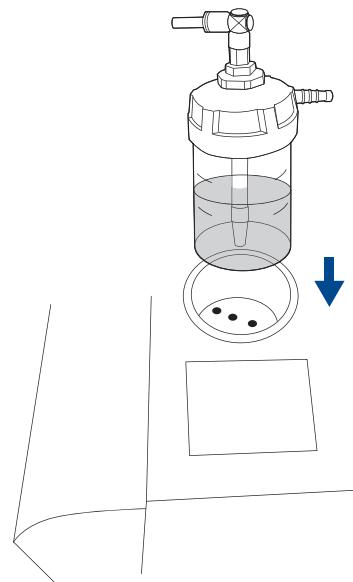
- 付属の軟水ミネラルウォーターがなくなったら、市販のものをご使用ください。浄水器を通していれば水道水もご使用いただけます。

お願い

- 濡潤カップのふたは、しっかりと閉めてください。
- 硬水、鉱水、シリカ水、温泉水などは使用しないでください。



2 濡潤カップのふたを閉め、濡潤カップホルダーにセットする



3 次の①～③の順に接続する

① 本体チューブと湿潤カップを接続する

- 互いの赤いシールを合わせて接続してください。

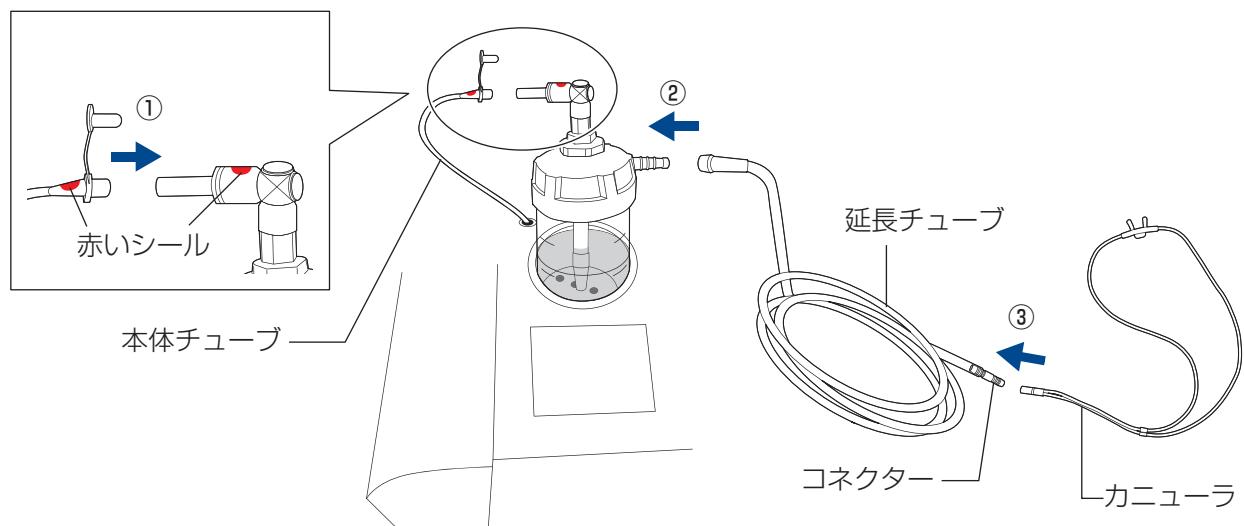
② 湿潤カップに延長チューブを接続する

- 延長チューブは、プラスチックのコネクターが付いていない方を湿潤カップに接続してください。

- 接続後、引っ張っても簡単に抜けないことを確認してください。

③ 延長チューブにカニューラを接続する

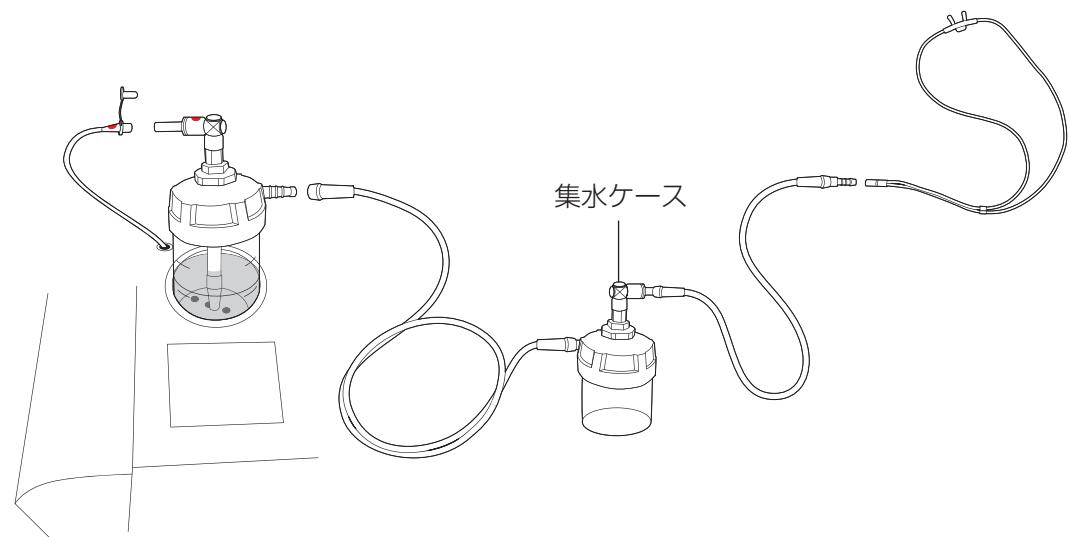
- ①②③で、すべてのチューブが正しく接続されていることを確認してください。



長時間、連続で使用する場合

2時間以上連続して運転する場合は、延長チューブを集水ケースに換えて使用することをお勧めしています。長時間の利用によりチューブに水が溜まるのを防ぐことができます。

- 集水ケースに水が溜まつたら、ふたを開けて中の水を捨ててください。事前に、集水ケース内にティッシュペーパーなどを入れておくと、ティッシュペーパーを交換するだけで水を捨てることができ便利です。(ティッシュペーパーは、必ず毎回新しいものを使用してください。)

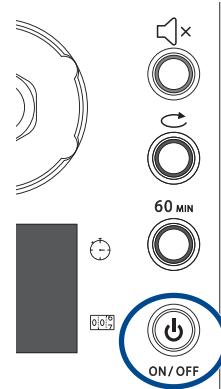


ご使用方法 (つづき)

運転する

1 [ON/OFF] ボタンを緑色に点灯するまで長押しする

本体の電源が入ります。

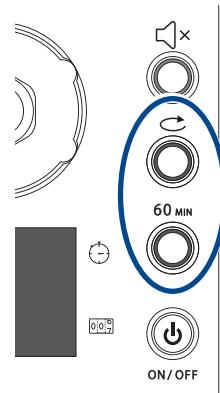


2 [↻] (連続運転) または [60 MIN] (60 分運転) ボタンを青色に点灯するまで長押しする

運転が開始され、湿潤カップホルダーの底が点灯し、湿潤カップ内に気泡（水素ガス）が発生します。

- ディスプレイの表示について、詳しくは「ディスプレイについて」(P.14)をご覧ください。

連続運転



30 分間の水素発生と、2 分間の冷却運転を繰り返します。



60分運転

60 分間の水素発生のあとに、2 分間の冷却運転を行います。冷却運転後、約5 分で本体の電源が自動で切れます。



3 カニューラを装着する

装着前にカニューラの挿入部を口元に近づけ、水素が流れていること(微風)を確認してください。

- ① 突起部を下に向け、鼻の下のくぼみにあて、挿入部を鼻に入れる
- ② ①を片手で押さえながら、もう一方の手でチューブを両耳にかける
- ③ リングを引き上げ、ズレないように調整する
 - ・リングは締め過ぎないように注意してください。
 - ・吸入は、ソファーなどに座り楽な姿勢で行ってください。



お願い

- 吸入中は火気厳禁です。火災や爆発の原因になりますので、喫煙したり、ストーブの近くで使用したりなど、可燃や引火のおそれがある場所で絶対に運転しないでください。

運転を停止する

カニューラを外し、それぞれ以下の手順で操作を行ったら、本体が自動で停止するまでお待ちください。

連続運転

- ①もう一度 [] (連続運転) ボタンを長押しする
2分間の冷却運転後、約5分で本体の電源が自動で切れます。



60分運転

- ①もう一度 [60 MIN] (60分運転) ボタンを長押しする
2分間の冷却運転後、約5分で本体の電源が自動で切れます。



※ 冷却中 [] (連続運転) / [60 MIN] (60分運転) ボタンが点滅します。

お願い

- 運転(水素の発生)中に、[ON/OFF] ボタンを押さないでください。故障の原因になります。
- 冷却中(2分間)は、ボタンを押したり、他の操作をしたりしないでください。故障の原因になります。

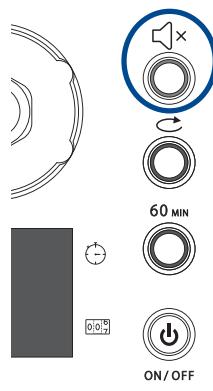
ご使用方法 (つづき)

サイレント

運転の終了を知らせる音(ピー)を鳴らないようにすることができます。

1 [♪×] (サイレント) ボタンが黄色に点灯するまで押す

- もう一度押すと、サイレントが解除されます。



ディスプレイについて

	オーバーヒートランプ 本体内部が一定の温度を超えると点灯します。 →点灯したら、必ず電源を切り(運転中は停止してから)、コンセントから電源コードを抜き、「メンテナンスセンター」にご連絡ください。(P.23)
	メンテナンスランプ (合計運転時間) が950 時間に到達すると点灯します。 → 点灯したら、「メンテナンスセンター」にご連絡ください。(P.23)
	満水ランプ 専用水の水位が注水により適量ラインを超えて、満水状態になると点灯します。 → 点灯したら、必ず「メンテナンスセンター」にご連絡ください。(P.23)
	水不足ランプ 専用水の水位が水不足ライン以下になると点灯し、水不足を知らせます。 → 点灯したら、専用水を注水してください。(P.17 ~ 18)
	運転時間 運転の度に、開始から終了までの時間を1秒毎にカウントします。 冷却運転中は、2分間を1秒毎にカウントダウンします。
	合計運転時間 本機の総運転時間を1時間毎にカウントします。 <ul style="list-style-type: none">950 時間に到達すると (メンテナンスランプ) が点灯し、1,000 時間に到達すると運転(水素の発生)ができなくなります。(カウントは、メンテナンス終了後にリセットされます)故障の原因となりますので、運転(水素の発生)中に [ON/OFF] ボタンを押して強制終了しないでください。「FFFF」のエラーが表示されると、運転できなくなります。 → 「FFFF」が表示されたら、「メンテナンスセンター」にご連絡ください。(P.23)

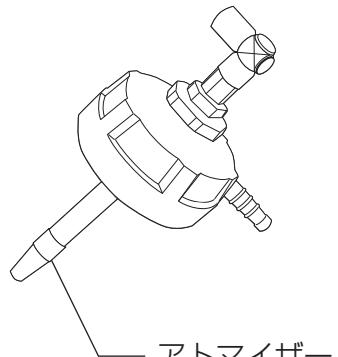
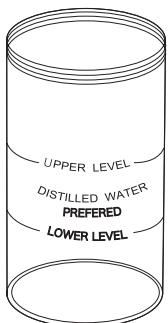
使用後のお手入れ

お手入れ時は、必ず運転を停止してから行ってください。

湿潤カップ 1日の終わりに

1 ふたを外し、中の水を捨てる

2 軽く水洗し、乾燥させる



アトマイザー

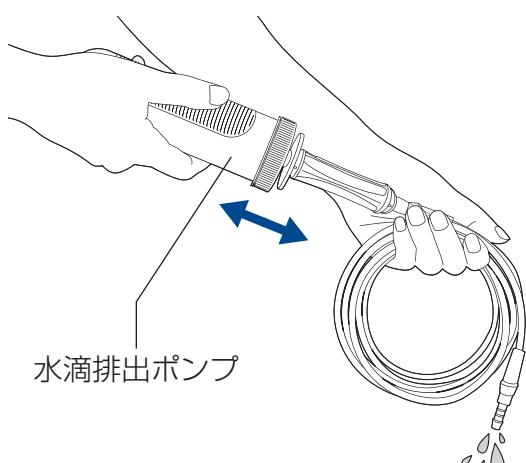
お願い

- アトマイザーを水に浸けたまま放置しないでください。目詰まりや雑菌が繁殖する原因となります。
- 衛生的にご利用いただくため、水は毎日新しいものに交換してください。

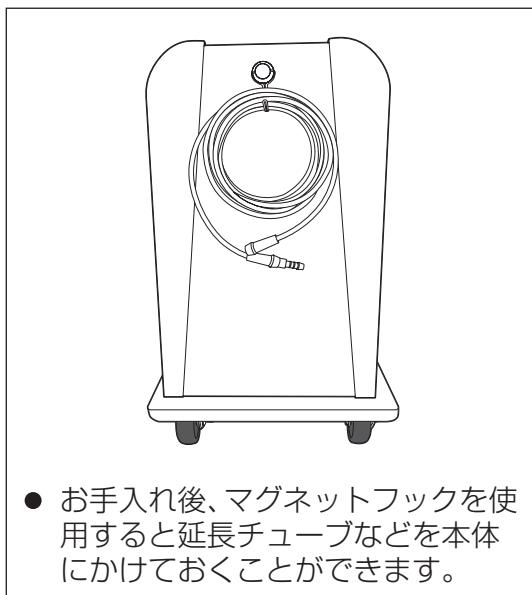
延長チューブ 1日の終わりに

1 チューブ内に水滴が溜まっていたら、水滴排出ポンプで溜まった水滴を排出する

- 水滴排出ポンプを接続していない側から水が排出されます。水が飛び出してもよい場所で行ってください。



水滴排出ポンプ



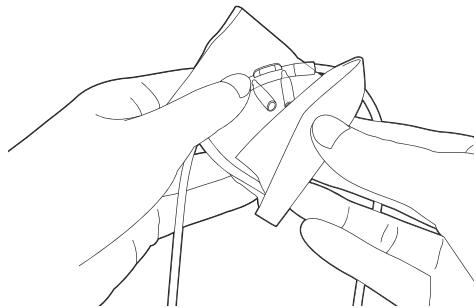
- お手入れ後、マグネットフックを使用すると延長チューブなどを本体にかけておくことができます。

使用後のお手入れ (つづき)

カニューラ 1日の終わりに

1 鼻に装着した部分をアルコールなどで拭く

- チューブ内に水滴が溜まっていたら、延長チューブと同じく、水滴排出ポンプで溜まった水滴を排出してください。
- 乾いたら付属のビニール袋に入れて保管してください。



お願い

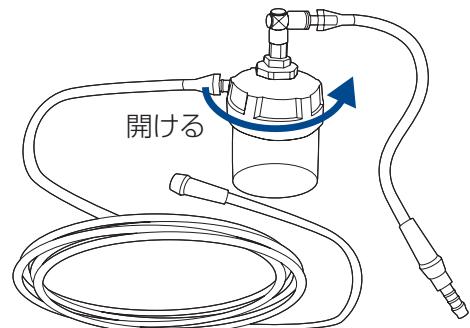
- 衛生的にご利用いただくため、カニューラはご使用状況により、1か月程度で新しいものに交換してください。

集水ケース 1日の終わりに

1 ふたを外し、中の水を捨てる

2 軽く水洗し、乾燥させる

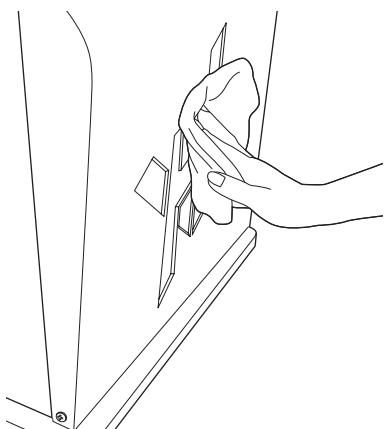
- チューブ内に水滴が溜まっていたら、延長チューブと同じく、水滴排出ポンプで溜まった水滴を排出してください。



本体 汚れが気になったら

1 吸気口にほこりが溜まっていたら、乾いた布で拭き取る

- 水拭きしたり、洗剤を使用したりしないでください。

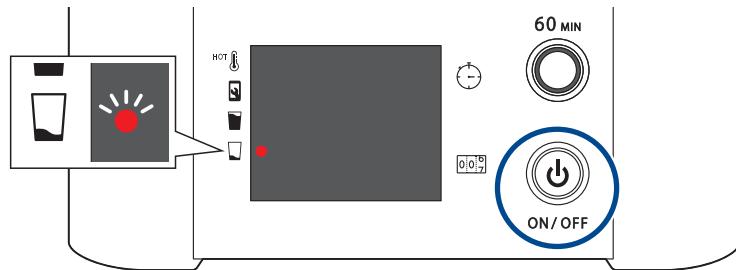


専用水の注水

お届け時、専用水は本体に注水された状態で納品されます。

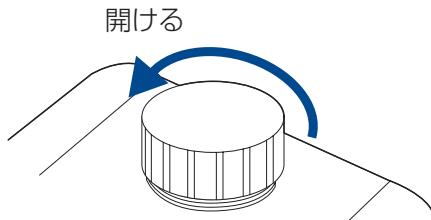
- 専用水は、□ (水不足ランプ) が点灯するまで、絶対に注水しないでください。
□ (水不足ランプ) が点灯していない状態で専用水を注水すると、■ (満水ランプ) が点灯し、運転(水素の発生)ができなくなります。■ (満水ランプ) が点灯したら、必ず「メンテナンスセンター」にご連絡ください。(P.23)
- 運転(水素の発生)中に □ (水不足ランプ) が点灯することはありません。

1 □ (水不足ランプ) が点灯したら、[ON/OFF] ボタンを押し、電源を切る



2 専用水注水口のふたを開ける

- ふたが開けにくい場合は、付属のキャップレンチをご使用ください。



3 専用水 1 本分をゆっくりと注ぎ入れる

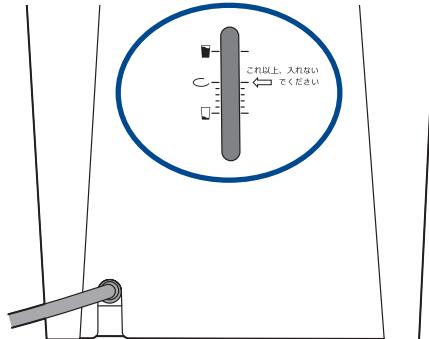
- 専用水は、勢いよく注ぐとあふれことがあります。静かにゆっくりと注水ください。



専用水の注水（つづき）

4 本体背面の専用水レベルゲージで水位が適量ラインであることを確認する

- 水位は注水速度よりもゆっくりと動きます。
ラインの確認は、水位が止まってから行ってください。

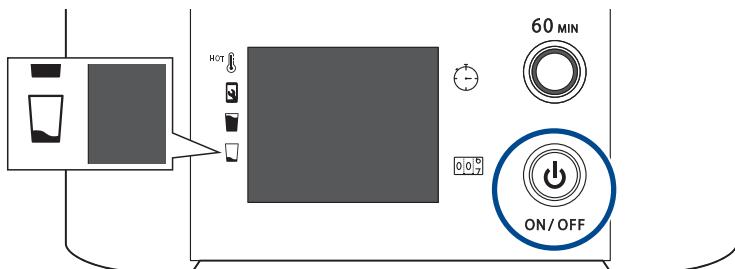


	満水ライン このラインを超えるとディスプレイの (満水ランプ) が点灯し、運転(水素の発生)ができなくなります。 →必ず「メンテナンスセンター」(P.23)にご連絡ください。
	適量ライン ディスプレイの (水不足ランプ) が点灯後、専用水を1本分注水すると、このラインまで水が入ります。
	水不足ライン このラインを下回ると、ディスプレイの (水不足ランプ) が点灯します。 →専用水を注水してください。

5 専用水注水口のふたを閉める

- ふたは必ずしっかりと閉めてください。緩みがあると水素の発生が弱くなる場合があります。閉めにくい場合は、付属のキャップレンチをご使用ください。

6 [ON/OFF] ボタンを押して電源を入れ、 (水不足ランプ) が消灯していることを確認する



Q&A 故障かな？と思ったら

電源について

電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">● 電源コードや延長用電源コードは、コンセントにしっかりと差し込まれていますか？● 電源コードを延長する場合、付属の延長用電源コードを使用していますか？● [ON/OFF] ボタンは緑色に点灯していますか？ → [ON/OFF] ボタンが緑色に点灯するまで長押ししてください。
電源は入ったが、運転できない	<ul style="list-style-type: none">● 運転モードが選択されていますか。 → 運転モードを選択しないと、運転は開始されません。 [] (連続運転) または [60 MIN] (60分運転) ボタンが、青色に点灯するまで長押ししてください。● ディスプレイの (水不足ランプ) が点灯していませんか。 → 専用水を注水してください。(P.17 ~ 18)● ディスプレイで、以下のランプが1つでも点灯したら、運転(水素の発生)ができません。 → 「メンテナンスセンター」にご連絡ください。(P.23)<ul style="list-style-type: none">• (オーバーヒートランプ)• (メンテナンスランプ)• (満水ランプ)
運転中に電源が切れる	<ul style="list-style-type: none">● 運転中に本体を斜めにすると、安全装置が作動して電源が切れことがあります。 → 平らで安定した場所に置いて使用し、運転中は本体を動かしたり移動したりしないでください。● 電源コードが抜けかかったり、接触不良になったりしていませんか？

ディスプレイについて

(水不足ランプ) が点灯している	専用水を注水してください。(P.17 ~ 18)
(オーバーヒートランプ) が点灯している	
(メンテナンスランプ) が点灯している	
(満水ランプ) が点灯している	当社でのメンテナンスが必要です。「メンテナンスセンター」にご連絡ください。(P.23)
(合計運転時間) が1,000時間に達した	

Q&A 故障かな？と思ったら (つづき)

水素の発生と吸入について

水素が出ない または出る量が少ない	<ul style="list-style-type: none">すべての付属品は、正しくお手入れされた清潔なものを使っていますか？(P.15~16)湿潤カップや専用水注水口のふたは、しっかりと閉まっていますか？湿潤カップ、専用水注水口のふたの内側にあるパッキンは装着されていますか？すべてのチューブはしっかりと接続され、緩みやねじれはありませんか？すべてのチューブは硬くなったり、先端に汚れが付着したり、伸びきってまとまらなくなっていますか？ → 延長チューブやカニューラの交換時期です。(P.22)アトマイザーに欠けや、ひびが入っていますか。 →「メンテナンスセンター」にご連絡ください。(P.23)電源ケーブルはたこ足配線にしていますか？ディスプレイの  (水不足ランプ) が点灯していますか。 → 専用水を注水してください。(P.17 ~ 18)ディスプレイの  (合計運転時間) が1,000時間に達していますか？ →「メンテナンスセンター」にご連絡ください。(P.23)
水素の発生を確認できますか？	湿潤カップ内にブクブクと気泡が出ていれば、水素は発生しています。また、カニューラの装着部を口元にあてると微風を感じます。

メンテナンスについて

メンテナンスはどのくらいのペースで実施すればよいですか？	「メンテナンス規定」(P.23) に記載されたタイミングで行ってください。
どのくらいの期間がかかりますか？	本機をご購入の場合： 1週間程度(お住まいの地域やメンテナンスセンターの混雑状況による) ・メンテナンス中は、代替え機の貸し出し(有料)も行っております。 レンタル機をご使用の場合： 本体交換となりますので、メンテナンス期間は発生しません。
費用はどのくらいでしょうか？	ハイセルベーター (PF72) メンテナンス費用：1回 30,000円(税別) [*] (2023年7月現在) ※別途、出張費が発生することがあります。

製品仕様/その他

仕様

電源	100 V
消費電力	350 W
ガス発生方式	電気分解方式
水素酸素ガス発生量	水素: 約 850 ml/m、酸素: 約 450 ml/m
水素純度	99.99%
寸法	幅 290 mm × 奥行き 455 mm × 高さ 530 mm (取っ手部除く)
本体質量	23 kg
使用条件	使用場所: 室内 推奨使用温度: 0 °C ~ 40 °C 推奨湿度: 30 % ~ 75 %
運転モード	連続運転: 水素発生(30分)と冷却運転(2分)を繰り返す 60分運転: 水素発生(60分)後、冷却運転(2分)を行う※ ※ 冷却運転後、5分程度で本体電源が自動で切れます。
メンテナンス	合計運転時間1,000時間毎、または1年に1回

軟水ミネラルウォーター

使用できる水	市販の軟水ミネラルウォーターまたは浄水器を通した水道水 ● 硬水、鉱水、シリカ水、温泉水などを使用すると、ミネラル分の付着により、泡が出にくくなったり、水が白濁したりすることがあります。 → 推奨市販品: サントリー「サントリー天然水」、「い・ろ・は・す」
使用のご注意	● 衛生的にご利用いただくために、湿潤カップは毎日水洗して乾燥させ、水は毎日新しいものに交換する ● 消費期限の過ぎたものは使用しない

専用水

使用目安	1本で11~13時間程度の運転が可能
消費期限	製造から1年間(ボトル上部に記載)
保管方法	直射日光、高温多湿を避け、気体やにおいを発生するものと一緒にないように、冷暗所で保管する
使用のご注意	● 付属または別売の専用水以外使用しない 他社の純水を使用することにより、本体に不具合が発生する場合があります。 ● 飲料水ではありません ● 消費期限の過ぎたものは使用しない ● 高純度に精製された精製水のため、不純物の混入に注意する

製品仕様/その他 (つづき)

廃棄について

ご不要になった場合はご自身で廃棄せずに、当社の「メンテナンスセンター」(P.23)までご連絡ください。

湿潤カップについて

湿潤カップの添付文書は、以下の手順でご確認いただけます。

- ① スマートフォンなどで、右のコードを読み取り、
アプリ「添文ナビ」をインストールする
- ② インストールした「添文ナビ」を開き、湿潤カップに
貼付しているコードを読み取る
- ③ 詳細画面が表示されたら【添付文書】をタッチする



Android用



iOS用

別売品について

専用水やその他の別売品は、同梱の「専用水・付属品 購入申込書」に必要事項をご記入いただきFAXでお送りいただくか、以下の「オンラインストア」またはメール・電話にてお買い求めいただけます。

オンラインストア

パソコンやスマートフォンなどからご利用いただけます。(クレジットカード決済可)



URL : <https://helixj.co.jp/store/>

メール

hjh2@helixj.com

本文に以下の内容を記載ください。

- 氏名
- お電話番号
- ご住所
- ご注文内容(商品名、購入点数)

電話

03-5579-2066

(受付時間: 平日9:00 ~ 17:00)



保証について

以下、保証対象外の範囲について記載しています。さらに詳しい内容や保証対象、保証期間については、「契約書」(レンタルの場合は「レンタル契約書」)の保証内容をご確認ください。

保証対象外

保証期間内であっても、以下の場合は有償修理(保証対象外)となります。

- ① お客様による不適切な使用方法・条件による故障
- ② お客様の不注意や過失に起因する故障
- ③ お客様の無断改造に起因する故障
- ④ お客様が当社以外のところで修理や改良をした場合の故障
- ⑤ お客様が当社指定の専用水および付属品を使用しないで発生した機器の不具合や故障
- ⑥ お客様が「メンテナンス規定」に記載されたメンテナンスを受けずに起きた故障
- ⑦ 保証書の提示がなかった場合
- ⑧ 火災等の不可抗力、地震、風水害等の天変地異による故障

メンテナンス規定

次のどちらかに当てはまる場合、当社にてメンテナンスをお受けいただく必要があります。

- ・  (メンテナンスランプ) が点灯^{※1}したとき、または1年に1回
- ・ 最後のご使用から3ヶ月以上経過したとき

ハイセルベーター (PF72)
メンテナンス費用: 1回 30,000円(税別) ^{※2} 3年7月現在)

※1  (合計運転時間) が950時間に到達すると点灯します。

※2 別途、出張費が発生することがあります。